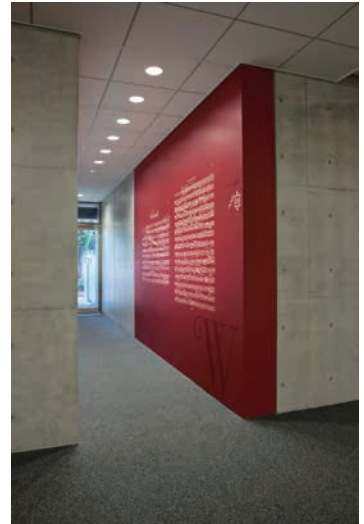


新1号館： サインパネルに使用された当館の貴重楽譜（その5）

2011年9月に完成した新1号館のサインパネルには当館所蔵の貴重楽譜が使用されています。地下1階から4階まで、各フロアに6か所、計30カ所に設置されていますが、「ぱるらんど」紙上でも順次ご紹介していきます。レッスンの合間に実際に歩いて探求してみるのも楽しいですよ。



ベートーヴェン、ルートヴィヒ ヴァン、1770-1827 チェロ・ソナタ 第3番 イ長調 op.69 Leipzig, Breitkopf & Härtel, 1809 初版

楽譜は横長のピアノ譜と縦長のチェロ譜で、ピアノ譜はチェロパートが印刷されていないパート譜の形である。表紙の作品番号は誤って「59」と印刷された。紙は碓とIAS（キリスト教の象徴）の透かし入り。この楽譜に使われた版は1809年の終わりに作品番号の訂正がおこなわれた後、1847年までに17回に分けて1,000部が印刷された。



この資料は貴重書につき、利用に制限があります。請求記号：S12-002
参考図書室のオンライン端末で電子ファイルを閲覧することができます。

※ 解題はサインパネルキャプションの転載です。

※ サインパネルに使用された資料30点のうち、1点はオリジナルではなく、自筆譜のファクシミリ版を所蔵しています。

※ 全30点の画像は、下記のURLで公開しています。

<http://www.lib.kunitachi.ac.jp/panel/panel.htm>